

令和 6 年度

第 2 回
庄内町総合教育会議

議 事 録

令和 6 年 12 月 25 日

庄内町教育委員会

令和6年度 第2回 庄内町総合教育会議 議事録

1 会議日程 令和6年12月25日(水)

開会 午前9時

閉会 午前10時45分

2 会議場所 庄内町役場 B棟 会議室1

3 内 容

1 開 会

2 あいさつ

3 協 議

(1)教育行政にかかる課題について

(2)その他

4 閉会

4 出席者

(構成員)

庄内町長

教育長

教育委員会委員

教育委員会委員

教育委員会委員

教育委員会委員

(職員)

総務課課長補佐兼総務係長

(事務局)

教育課長

社会教育課長

教育課専門官兼学校教育主任専門員

教育課課長補佐

指導主事

指導主事

社会教育課課長補佐

社会教育課課長補佐兼図書館長

教育課主査兼共同調理場所長

社会教育課主査兼社会教育係長

教育課学校教育係長

教育課教育施設係長

教育課主査兼教育総務係長

富樫 透

佐藤 真哉

梅木 均(教育長第一職務代理者)

太田ひろみ(教育長第二職務代理者)

齋藤 雅子

飯判 義晃

齋藤 貴幸

清野 美保

佐藤 直樹

佐々木 平喜

菅原 光博

齋藤 希望

本間 琢也

佐々木 信一

佐藤 晃子

阿部 和恵

齋藤 克弥

長谷部 奈津

齋藤 俊一

池田 省三

5 欠席者(構成員) なし

6 傍聴者 3名

開 会	(午前 9 時)
教育課長	令和 6 年度第 2 回庄内町総合教育会議にご出席いただきありがとうございます。それでは、これより総合教育会議を始めさせていただきます。それでは、はじめに富樫町長からご挨拶いただきたいと思います
富樫町長	本日は小学校の再編に伴う建設場所がメインのテーマになるのではと思いますが、今までの再編整備検討委員会での経過も踏まえながら、10、20 年後の庄内町の将来を見据えて、皆様から忌憚の無い意見を頂きたいと思っております。よろしくお願いします。
教育課長	ありがとうございました。それでは、進行は町長お願いします。
富樫町長	次第に沿って進めさせていただきます。3 報告ですが、各項目それぞれ担当から説明させていただきます。
教育総務係長	(1)再編整備検討委員会最終意見聴取結果(第 3 回アンケート)について 資料に基づき説明
富樫町長	ご質問等ございますか。無ければ次に進みます。
教育課課長補佐	(2)用地費、建設費及び小学校統合後の維持管理費について 資料に基づき説明
富樫町長	ご質問等ございますか。無ければ次に進みます。
総務課課長補佐	(3)交付税需要額の比較について 資料に基づき説明
富樫町長	ご質問等ございますか。無ければ 4 協議に入ります。庄内町立小中学校再編整備実施計画(案)について 事務局より説明をお願いします。
教育総務係長	庄内町立小中学校再編整備実施計画(案)について 資料に基づき説明
富樫町長	ご意見ご質問ございますか。
飯淵委員	この実施計画案ですが、再編整備検討委員会では大多数が小学校の建設候補地は、「響ホール北側」でした。ただ、第 1 回総合教育会議の中で、教育委員の半数以上が「立川小中学校敷地」という意見でしたので、納得いきません。また、ハザードマップの浸水予測ですが「立川小中学校敷地」は 50 センチ未満だと思います。また、液状化問題について検討したのかお聞きしたいです。
教育課長	再編整備検討委員会には、教育委員の皆様からも可能な限り出席いただいたので、状況については十分理解いただいているものと思います。また、前回の総合教育会議での、教育委員の方々の意見も承知しております。それを踏まえ、第 3 回の再編整備検討委員会で教育委員の皆様からも検討委員とのグループトークに参加していただき、検討委員の声を聞いていただきました。教育委員ご自身の考えも当然あると思いますが、本日の総合教育会議では、考えに変化があるか、お聞かせ願いたいと思います。事務局としては、これまでの検討委員会の状況や策定にあたり重視した点に基づき、実施計画案を作成しました。
教育総務係長	浸水予測については、ハザードマップの通りです。「立川小中学校敷地」は確かに浸水予測が 50cm 未満ですが、周囲は最大で 3m 程度と予測されていますので、危険性はあるものと認識しています。また、液状化については今回判断材料としておりません。
飯淵委員	危険を及ぼすような記載はいかがなものでしょうか。
教育総務係長	危険性を認識しつつ建物を建設するのは、行政としてあってはいけないと考えています。実際、危険性があるのは事実ですのでご理解いただきたい。
飯淵委員	天災ですのでどこに建てても被害は 0 ということは無いと思いますが、もう少し表現について考慮いただきたいと思います。

富樫町長	「立川小中学校敷地」は、庄内平野東縁断層帯に近いというのは事実です。地震の発生確率が日本海側では一番高いのも事実です。ただ、表現方法については、精査して調整してください。ほかにございますか。
梅木委員	「響ホール北側」の農振除外についてですが、手続きが遅れた場合、建設時期が遅れる可能性があるかとありますが、代替案は準備するのでしょうか。
教育課長	現時点では代替案は考えておりません。
町長	来年 1 月の教育委員会定例会で正式に建設候補地が決定すれば、手続きは間に合うものと思います。ほかにございますか。
齊藤委員	色々考えると「響ホール北側」が良いとは思いますが、もう少し町の中心にあればとも思います。スクールバスも運転手の確保が難しいとのことでしたが、例えば、業者委託だけではなく、町でも運行して、小中学生だけではなく地域の方々もバスに乗れるような方法を考えても良いと思いました。
教育課長	町営バスも色々な課題を抱えていますので、そこも含めて考えていければと思います。
町長	地域交通は、路線バスの減少により、デマンドタクシーなどで対応していますが、庄内地方全域を見てもなかなか大変です。市町の枠組みを超えて連携できるような仕組みを検討できないかという要望もありますが、もう少し時間が必要だと思しますので、ご理解ください。
太田委員	私個人としては「立川小中学校敷地」が良いという意見ではありますが、再編整備検討委員会でのアンケート結果や安全性、交通アクセス、コスト面などを考えると建設候補地が「響ホール北側」になるのは仕方がないという気持ちです。新しい小学校が、他市町村から見ても建物だけではなく教育内容も含めて良いと思われる学校に、町民誰もがここで良かったと思えるような学校にしていけることが大事だと思います。市町村合併により学校が無くなってしまうのは残念ですが、子どもたちが町内 1 つの小中学校から育って行って、庄内町の将来を担って欲しいと思います。
飯淵委員	庄内町は縦長の町なので仕方がないことはわかるのですが、一極集中はまちづくりとしてどうなのかなと思います。清川小学校と立谷沢小学校が立川小学校に統合して 10 数年経ちますが、立川小学校が統合されれば、清川と立谷沢がどんどん衰退していつているのと同じようになるのではないのでしょうか。先程、行政は安全性を重視するという話がありましたが、立川庁舎は安全なのかと思う住民の方もいらっしゃると思うので、その辺も考慮していただきたいと思います。
町長	立川地域はまちづくりセンターを中心にしながら、道の駅、楯山公園などの色々な拠点をそれぞれのポイントが面でつながるような形にしていけないといけないと思っています。まちづくりは、町全体で考えていかなければいけません。それぞれの地域の歴史や文化伝統を生かして、人口は減少していますがそれを繋いでいくのが我々の役目だと思っていますので、ご理解いただきたいと思います。令和 8 年度からの新しい町総合計画について、先日も希望ミーティングを実施し、多くの町民から意見をいただいております。年明けにはまとめられると思います。そういった希望が持てるまちづくりに向けて、皆さんと一緒にやっていければと思います。
教育長	いろいろとご意見ありがとうございました。私からは 3 点お話をさせていただきます。まず 1 点目として、安全性ということです。本日、過度に危険を煽るのは好ましくないというご意見がありました。ただ、昨今地震や豪雨などによる

	重大な自然災害の発生が危惧されています。教育長の立場として、子どもたちの安全確保は重大かつ重要であると考えます。先日の町議会でも想定外が多いから想定外を考えなければならないというお話がありました。今回、小学校候補地の選定にあたり、データ上はリスクがあるという事実を目にして、やはり子ども達のためには、リスクが少ない方が良いと思います。学校建設で最優先すべきは、将来に渡って子ども達の命を守ること、安全に避難できることだと思います。 2 点目としては、町内全小学校が一緒になるとして、これから全町あげて子供たちを応援して、育成していかなければなりません。オールチーム庄内町の体制をこれから作る必要があると思っています。庄内町、特に立川地域の豊かな自然や歴史文化が良いという話が再編整備検討委員会の中でありました。全小学校区の特色ある地域資源や地域の人材を活用した教育活動を統合に向け、庄内町の子ども達のために、庄内町全体を学べるような地域に開かれた学校づくりを推進しなければならないと思います。 3 点目としては、まちづくりです。庄内町総合計画のデータを見ると、若い世代が求める特色の1位は、子育て教育の町でした。今回の学校整備を機に全町挙げて、「学校づくりはまちづくり」ということを共有していきたいと思います。実際、他市町村出身の教職員も何名か庄内町に移住している状況です。庄内町へ移住したいような学校、町を作っていきたいと思っています。
町長	庄内町職員も酒田や鶴岡など他市町村に住んでいる人もいますが、逆に他市町村職員でも庄内町に住んでいる方がいます。そういう意味では、住みやすい住み続けたい町だと思います。まちづくりの中心は、子育てと教育というお話がありましたが、そこは欠かせないと思っています。来年は合併 20 周年ということで、色々内部では検討している状況です。子ども達には選択肢を増やしてあげたいと思っていますので、応援団として、しっかりやっていきたいと思っています。ほかにございますか。
飯淵委員	安全性とか利便性は大事だと思いますが、一番は子ども達にストレスがかからないようにすることだと思います。子ども達が庄内町で育って、また帰ってきて、ここで自分の子どもを育てたいというような町にしていきたいと思っています。
梅木委員	前々から言っておりますが、小学校が 1 つになると大規模な学校になると思います。その中で、教育内容に対する議論は時間をかけてやって欲しいと思います。庄内町にしかできないような教育。特色ある教育を作り上げてほしいです。最近の学力低下は、深刻な問題だと捉えています。その改善も含めて先生方には期待しています。
教育長	5 つの小学校が一緒になるということは、バランスを取ることも必要になりますし、国際的な英語学習なども特色の 1 つになると思います。
教育総務係長	先程、候補地の比較の中で液状化問題のお話がありましたが、確認したところ両候補地ともハザードマップ上は、ほぼ差がありませんでしたので報告させていただきます。
町長	ほかにございますか。
齊藤委員	今回のテーマとは少し違いますが、共同調理場についてです。現在、狩川地区に共同調理場がありますが、学校が余目地区だけになった場合の移転等の検討はしていますか？
教育課長	共同調理場については、まだ建設からあまり時間も経っていませんので、移転

	等の検討はしておりません。ただ、配達先が少なくなりますので、省力化はできると考えます。
齊藤委員	今まで少人数で過ごしていた子ども達が、大人数の学校になることでストレスはかなりあると思います。ですので、統合 3 年前からではなく、今からでも庄内町は一つということを進めて行って、子ども達の心の壁とかストレスを無くしていった方が良いのではと思います。
町長	現在、小学校が合同で実施している行事などがありますか。
教育長	現在は、陸上競技会や 5 年生対象の文化交流会があります。先日の校長会でも小学校の再編整備に関して 1 校統合の案が出ているということで、各校長には共有して考えていきたいと話したところです。
町長	ほかに無いようでしたら、進行を事務局へお返しします。
教育課長	本日は貴重なご意見ありがとうございました。本日の協議した内容については、本日この後開催されます教育委員会定例会を経まして、パブリックコメントを実施する予定です。また来年 1 月 29 日開催予定の教育委員会定例会において再編整備実施計画を決定する予定です。以上をもちまして、第 2 回庄内町総合教育会議を終了します。
閉会	(午前 10 時 45 分)